

普及センターだより

No.126

# MISATO

発行 宮城県美里農業改良普及センター

〒987-0005 遠田郡美里町北浦字笹館5

TEL (0229) 32-3115 E-mail msnokai@pref.miyagi.lg.jp

FAX (0229) 32-2225 URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

(有)氏家農場（涌谷町）が「日本農業賞特別賞」を受賞

## 普及の窓 「不安と安心」

美里農業改良普及センター  
所長 大友 慎次

今年度も、田植えが一段落する時期になりました。

毎年、鮮やかな緑の田園風景に心が和んだり、これから成長しようとする作物の姿を見て、さあ始まったぞと元気が出たりする時期です。大崎耕土の持つ醍醐味を、特に感じることでできる季節の一つだと思っています。

また、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、農業や食料生産の大切さを強く感じる年になっていると思っています。どんな時でも農業に携わり、多くの方々が安心して食することができる農産物を供給している皆様ひとりひとりに感謝しながら、1年を過ごしたいと考えております。

世の中が落ち着いていなくても、農業が元気な姿でいることが、大きな安心をもたらします。

感染症への不安がなくならず、農業経営にも影響が大きい中ですが、普及センターといたしましては、微力ながら、よい方向に向かっていけるよう、皆様とともに取り組んで参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

## 令和2年度プロジェクト課題紹介

集落営農組織、酒造好適米「吟のいろは」、こねぎ  
3つをキーワードにプロジェクト課題に取り組みます。

### 地域農業の維持・発展に向けて法人化した集落営農組織の経営安定化

(農)タカギ農産(美里町)は、集落営農組織を母体として平成29年9月に設立された農事組合法人です。農地中間管理事業の活用により農地集積を図り、収益性の高い転作作物を主体とした経営を行っています。現在の経営面積は約23haで経営内容は、主食用水稲8ha、大豆14ha、にんじん1.4ha等です。

昨年度は、転作作物として導入した「大豆」と「にんじん」との作業競合を回避するため、大豆の中耕培土の廃止と新規茎葉処理剤による雑草防除で作業の省力化を図る体系を検討し成果が得られています。

今年度は、引き続き転作体系の確立と収益性の向上および、地域内の他の法人間との連携により業務用野菜を安定供給する体制作りを支援していきます。



にんじんの収穫作業

### 地域の特徴を生かした「吟のいろは」の産地化の実現

古川農業試験場で育成された「吟のいろは」は、大粒で心白発現率が高い特性を持つ酒造好適米で、令和2年2月に品種登録出願公表されました。

松山町酒米研究会は、地元の酒蔵と結びついて第3者認証によるJAS有機栽培や特別栽培による酒米の生産に取り組んでいます。研究会では、「吟のいろは」に期待を寄せており、新品種の導入を契機に酒米の産地として地域を盛り上げていきたいと考えています。

「吟のいろは」は、新しい品種であることから、栽培方法が確立されておらず、高品質の原料米を安定して提供するためには、早期に栽培技術の確立する必要があります。

普及センターでは、栽培管理技術の確立に向けた支援、種子確保に向けた取組の支援、関係機関と連携した産地化に向けた支援について重点的に取り組んでまいります。



松山町酒米研究会の現地検討会

### 持続的な生産に向けたこねぎ栽培技術の向上

JA新みやぎ仙台小ねぎ部会で栽培しているこねぎは、JA新みやぎみどりの地区本部で最大の販売額を誇る園芸品目です。部会では、毎年収量や品質の成績優秀者を表彰するなど、熱心にこねぎ生産に取り組んでいます。

若手生産者も参入していることから、熟練生産者のこねぎ栽培技術を見える化するため、栽培環境をデータ計測・分析し、モデルとなる指標を作成することで技術力向上を目指したいと考えています。

また、土壌病害である萎凋病の発生なども課題となっているため、それらの課題にも取り組み、普及センターでは、仙台小ねぎ部会の栽培技術向上へ向けて支援してまいります。



栽培技術見える化試験の様子

**重点的な普及活動の紹介**

**青ねぎ、新規就農、台風からの復興、「金のいぶき」を  
テーマにした活動項目を重点的に支援します。**

活動項目	内 容	対 象
園芸産地の育成に関する取組	「青ねぎ」の産地育成に関する支援	・管内青ねぎ生産者
新規就農者の確保・育成に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や教育機関に対する就農に関する情報提供</li> <li>・先進農業経営体における研修の調整及び研修終了者に対する就農支援</li> <li>・新規就農者（自営・雇用）に対する情報提供や研修会等への参加誘導</li> <li>・農村青少年クラブへの参加誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生</li> <li>・教育機関</li> <li>・農業研修生</li> <li>・新規就農者（自営・雇用）</li> </ul>
令和元年東日本台風からの復興支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農、経営計画等の作成支援</li> <li>・生産技術に関する支援</li> <li>・栽培環境の整備や土づくり等に関する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災農業者</li> <li>・大崎市鹿島台志田谷地地区</li> </ul>
「金のいぶき」による地域活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定生産技術の普及定着</li> <li>・作付け誘導による面積の拡大支援</li> </ul>	・管内「金のいぶき」生産者

**管内農業の動き**

**第49回日本農業賞特別賞受賞 おめでとうございます！**



涌谷町でねぎや水菜などを生産する有限会社氏家農場（氏家靖裕代表取締役）が第49回日本農業賞特別賞を受賞しました。日本農業賞は、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展にも貢献している農業者や営農集団等を表彰するものです。

氏家農場は、地域の特産品である葉ねぎの中心的な生産者であり、平成23年に県内でいち早くJGAP認証を、平成29年にはASIAGAP認証を取得し、経営や技術等の改善に取り組むと共に、農福連携をはじめとする地域雇用の創出や女性が活躍できる就労環境整備を積極的に行っており、その取組が高く評価されました。

**農業士の紹介**



指導農業士  
**今野 克昭さん**

水稲、野菜類の生産を中心とした地域を代表する担い手で、早くから水稲・転作作業を受託しています。

水稲の乾田直播では、移植と同等の収量・品質を確保しており、高い栽培技術を有しています。

これまで研修生を多数受け入れ、後継者育成に貢献しています。



指導農業士  
**齋藤 常浩さん**

酪農と水稲栽培を営む地域を代表する担い手です。

酪農では地域内の酪農家と共に飼料増産組合を運営し、高品質な飼料の安定供給に尽力しています。

水稲栽培では涌谷町と提携して「金のいぶき」を栽培し高い反収を上げており、地域農業の振興に貢献しています。